

## 学習支援コモンズについて

2026年4月に教育・学生支援機構に設置する学習支援コモンズは、「学修者本位の教育」の実現を目指す全学的組織です。学部・研究科等と連携・協力しながら、全ての学生を対象に入学前から卒業・修了までを通じて継続的な支援を行い、学生一人ひとりの学習目標の達成、課題解決、キャリア開発を促進します。

本コモンズでは、履修登録を単なる授業選択ではなく、カリキュラムの理解、学習方法の習得、授業時間外学習の習慣化を含む学習全体の設計として捉えます。また、準正課教育や正課外活動とも連動し、ディプロマ・ポリシーに基づく学習成果と学生一人ひとりの目標達成を支援します。

学習支援を実施するにあたっては、各種支援組織とも連携するとともに、連携した支援を実践できるアカデミック・アドバイザーを育成します。

### 主な業務内容

#### ・新入生セミナー等の授業担当

全学部新入生を対象とした共通教育科目「新入生セミナー」を担当します。授業を通して学生が将来像を描き、大学での学習を主体的に設計できるよう支援するとともに、大学で学ぶために必要な学習スキルの習得を促します。さらに、出欠状況や成績等を踏まえ、支援が必要な学生への早期アプローチを行います。

#### ・個別面談の実施

アカデミック・アドバイジングに基づく個別面談を行います。学生の将来目標の設定およびその実現に向けた計画立案を支援します。対象は学部生に加え大学院生も含みます。学習上の課題を抱えた学生だけでなく、より高い目標を目指して主体的に学ぼうとする学生にも対応します。

#### ・履修登録を含む学習計画策定支援

ポートフォリオ等のツールを活用し、学生一人ひとりの学習目標に基づく学習計画の策定を支援します。履修登録を単なる授業選択ではなく、将来像や学習目標と結びついた計画的な学習設計として位置づけ、主体的な意思決定を支援します。

#### ・スキルアップセミナーの企画・実施

学生の学習スキルの向上を目的としたセミナーを企画・実施します。レポート作成やプレゼンテーション等をテーマとし、学生のニーズを踏まえながら計画します。図書館や学習支援ルームのスタディ・アドバイザー等と連携して実施するほか、単独でも開催します。

#### ・学習支援ルームの運営およびスタディ・アドバイザー支援

数学や物理等の基礎科目に不安を抱える学生を支援する学習支援ルームの運営を

担当します。学生対応を担う大学院生であるスタディ・アドバイザーの募集・育成を行うとともに、採用後の助言・支援を通じて、連携しながら学習支援体制の充実を図ります。

・主体的・意欲的な学習の促進に関する取組

より高い目標に挑戦しようとする学生に対し、学習機会や関連情報を提供します。関心や将来像に応じた学びの機会を広げ、主体的な学習を後押しします。

・キャリア形成および就職支援に関する企画・連携

就職支援課と連携し、学生の進路選択やキャリア形成に関する助言および情報提供を行います。ワークショップの企画・実施に加え、個別面談を通じた支援も行います。

・学内教職員向け研修の企画・実施

学内で学生への支援に関わる教職員を対象とした研修を企画・実施します。アカデミック・アドバイザー養成講座をはじめ、実践に資する研修を展開します。

・学習支援およびキャリア支援に関する調査・研究

学習支援およびキャリア支援の効果検証や実態把握に関する調査・研究を行い、その成果を支援体制の充実および教育改善に還元します。

・学習支援に関する情報発信および提供

学習支援に関する情報を広く発信し、学生をはじめ、教職員や保護者等の理解促進を図ります。

【(参考) 学習支援commons設置の背景】

中央教育審議会の「我が国の「知の総和」向上の未来像（答申）」において更なる推進が指摘された「学修者本位の教育」は、学生の適切な履修計画が重要な前提となる。「楽勝科目を受講したい」「1限の授業は嫌なので避けたい」といった学生の安易な考えではなく、「興味がある授業を受講したい」「苦手だけど自分にとって必要な学習をしたい」「留学に向けて事前準備をしたい」といった学生の入念な履修計画に基づいて、学修者本位の教育は実現される。愛媛大学は、学生が大学のカリキュラムを理解し自らの関心やキャリア志向に応じて学習を行うことができるように、「学習支援commons」を設置し、これまで学習支援ユニットの2人で行っていた体制を強化し、全学的なアカデミック・アドバイジングの体制を整備する。

「学習支援commons」では、履修計画を、これまでの履修指導でありがちであった単なる授業選択の範囲を超え、カリキュラム理解、履修計画の立案、学習方法の習得、授業時間外学習の習慣化といった学習全体に関わるものと捉え、学年や分野を問わず、入学前から卒業、大学院進学から修了にわたって全学生（約9,200人）を支援する。さらに準正課教育や正課外活動での学習にまで対象を拡大し、全学生の適切な履修を促し、ディプロマ・ポリシーが示す学習成果と個々の学生が望む学

習成果の両方を達成する。「学習支援コモンズ」の教育的効果を効率よく全学に拡充するため、学内教職員のアカデミック・アドバイザー育成機関として機能させるとともに、IRとも連携し各学部等のカリキュラムの改善に向けた助言も行う。この取組は、限られた専門人材で質の高い大学教育を提供することができ、他大学のモデルともなりうる日本型アカデミック・アドバイジングを確立させるものである。